

大阪国際サイエンスクラブ 特別懇談会

International
Science Club
of Osaka



「オープンイノベーションから考える画期的抗ウイルス薬の創製
～抗エイズ薬ティビケイから抗インフルエンザ薬ゾフルーザの開発～」

不治の病とされてきたエイズ、また昨年、猛威をふるったインフルエンザの画期的な治療薬として、塩野義製薬株式会社様はエイズを不治ではなく慢性病にした抗エイズ薬『ティビケイ（ドルテグラビル）』また、1回の服用で治療ができる新薬『ゾフルーザ』を研究開発してきました。

今回、同社において数々の創薬にかかわられた塩野義製薬の坂田恒昭シニアフェロー様からお話を伺います。

ドルテグラビルおよびゾフルーザを研究開発されるにあたっては、自社のみならず他の企業・機関と連携したオープンイノベーションを推進されました。オープンイノベーションの特徴、方法と画期的な発明に至った経緯などもご紹介いただきます。

イノベーションを生むための発想や方法等について知ることができるまたとない機会です。是非ともご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 : 2019年11月22日(金) 15:30～17:00
2. 場 所 : 大阪科学技術センター 7階 702号室
3. 講 師 : 坂田 恒昭氏(塩野義製薬株式会社シニアフェロー、医学博士)
4. テー マ : 「オープンイノベーションから考える画期的ウイルス薬の創製
～抗エイズ薬ティビケイから抗インフルエンザ薬ゾフルーザの開発～」
5. 参加費 : 2,000円

<お申し込み・お問い合わせ>

大阪国際サイエンスクラブ 事務局

TEL (06) 6441-0458 FAX (06) 6441-0459

E-Mail: science@isco.gr.jp

～坂田恒昭氏ご略歴～

昭和 52 年 大阪大学・理学部・生物学科卒業
 昭和 54 年 大阪大学大学院・理学研究科・生理学専攻修了
 昭和 54 年 塩野義製薬株式会社研究所入社
 平成 26 年～現在 塩野義製薬株式会社・シニアフェロー
 平成 2 年～平成 3 年 米国カリフォルニア大学・ロスアンゼルス校
 (UCLA) ・外科学・泌尿器学教室・客員研究員
 平成 14 年～現在 大阪大学サイバーメディアセンター・客員教授
 平成 26 年～現在 徳島大学研究支援・産学官連携推進部・客員教授
 令和元年～現在 大阪大学産学共創機構・産学共創本部・特任教授



平成 26 年 大阪府薬事関係功労者知事表彰 (薬学研究)

役職：(独) 日本科学技術振興機構 (J S T) JST-CRDS 研究開発戦略センター ライフサイ
 エンス・臨床医学ユニット 特任フェロー
 国立研究開発法人産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 顧問
 大阪大学共創機構 産学共創本部 イノベーション共創部門 顧問
 大阪商工会議所 ライフサイエンス振興委員会 副委員長
 特定非営利活動法人 近畿バイオインダストリー振興会議 副理事長
 日本オミックス医療学会 顧問
 情報計算化学生物学会 (CBI 学会) 評議員

他多数

大阪国際サイエンスクラブ 「特別懇談会」 (11 月 22 日開催) 参加申込書

社名もしくは 団 体 名：		
所 在 地：〒		
TEL：() —		
FAX：() —		
E-Mail： (今回の講演会に関する連絡先 E メールアドレスがあればご記入ください)		
氏 名	所 属 ・ 役 職	備 考

※ご連絡頂いた個人情報は、本事業のご案内及び当クラブの関連する見学会・講演会等のご案内以外使用する事は一切致しません。